

学校教育目標

よく考えて実行する杉本小の子
健康でたくましい杉本小の子
思いやりのある杉本小の子



海老名市立杉本小学校



学 校 便 り

令和7年12月15日
校 長 奥泉 憲

インクル の視点③

20世紀最大の発見の一つに、DNAを探り当てたことがあげられます。ワトソンとクリックというアメリカとイギリスの2人の科学者が、1953年、すべての人間の細胞にあるDNAの2重らせん構造を見つけました。DNAというのは、遺伝情報を含んだ生命活動の設計図で、私たち一人ひとりが異なるDNA構造をもっています。地球上には約80億人の人間がいて、生命の設計図であるDNAの構造は80億通りとなり、まったく同じ人間というのは自然界では生まれません。だからこそ、私たち一人ひとりがとても大切にかけがいのない存在なのです。また、DNAの配列から構成される遺伝子は、これまで生命を維持するために設定されている非常に利己的なものだと考えられてきましたが、イギリス人の生物学者リチャード・ドーキンスは、『利己的遺伝子』という本の中で、この本のタイトルとは反対に、遺伝子は、利他的な性質があると主張しています。人には自分のためだけでなく、人のために生きたい、人の役に立ちたいという考えが潜在的に備わっているというのです。

DNAの働きにより私たちは、一人ひとりが唯一無二の存在であり、それぞれに素敵な個性を持ち合わせています。杉本小の子どもたち一人ひとりが自分自身の良さを意識しつつ、みんなの役に立ちたいと考えながら、学校をそしてクラスを作っていくことに大きな意味があるのだと思います。 学校長 奥泉 憲

校外学習 横 浜

12月9日(火)、すぎの子の子ども達と保護者の方にもご参加いただき、校外学習で横浜みなとみらいに行ってきました。

最初に訪れたのは、みなと博物館。横浜港の歴史や役割についての展示を見たり、クレーン操縦のシミュレーションをしたりして楽しみました。次は、帆船日本丸の見学。歴史ある船の中に入ることができる貴重な体験です。大きな舵輪を見て「すごいね、動かしたいな。」と感動したり、意外に狭い客室に「ここで寝るの怖いな。」と驚いたりしていました。曇り空で少し肌寒かったですが、船旅気分を味わうことができました。

その後、お家の人や友達と一緒に昼食。戻ってくるときには「おいしかった。」と満面の笑顔でした。

横浜の海風を感じながら、素敵な一日を過ごすことができました。 すぎの子級担任 福岡

